

三夕 日刊 磐城時報

編輯者 石城郡平町新屋町十四 印刷者 石城郡平町新屋町十四 發行所 石城郡平町新屋町十四

縣下青年体育大會で 石城全種目に優勝

大會開始以來の痛快事 歸平を待ち構へて歓迎會

縣聯合青年体育大會は二日福島勝した。一郡の選手が全種目に市で舉行されたが、石城郡から優勝した事は同大會始まつて以

第二區兒童 陸上競技大會

木田の三君何れも優良の成績を技大會は二日午前九時から平町

切角竣工したが ガラあきの取締所

所員の任命がない

長い間の懸案だった平町蠶業取締所に石城郡養蠶業者はカンク

平町の陪審資格者

▲罰金延期願 石城郡内

七ヶ村の 土木事業着工

平土木監督所管内左記七ヶ村の 縣道改修時局匠事業は昨日

平田凱旋將軍 愈々あす平町入り

聚樂館で講演會

滿洲事變凱旋將軍元二十九聯隊の五月中火薬取締法違反で平

平町税 滞納處分

平町では町税滞納千八百三十七 圓の差押物件を十九日、二十日

江名築港 促進を陳情

石城郡江名町中ノ作漁港は工費 十五萬圓をもつて縣營工事とし

新聞記事によつて 女石童丸親子對面

既報東京市外龜戸町齒科技工武 業家鈴木賢二所有アグリ船金比

山内醫院開業

平町 字一丁目鷹崎千代女史愛婿醫學 士山内享吉氏は近く田町に耳鼻

四倉齒科醫 榎木見學

四倉醫師齒科醫組合では十五日 十六日の二日間榎木縣方面に見

湯本水道料徴收は 十月は不可能に陥る

石城郡湯本町上水道は工事完成らより外無かるべく今月も無料

船に放火

アグリ網焼失

食に窮した失業者に 鈴木巡査が同情

植田町渡邊管店方雇人若松市右に 生れ坂上修(三四)は此程解雇さ

福島縣一齊に 不良船取締

石巻海軍部の坂部技師は廿日福 島縣江名港の漁船體検査を終

少年が家出

名町宇南町魚屋馬目久五郎の二 男恒(一九)は去る八月中秋職し

外套窃取

石城郡平 町大工町十三大工職丸山久太郎

横濱植木株式會社特撰
草花・蔬菜類

優良種子

各種賣出し致しました。

農園藝藥品の御相談は
西村屋藥局
電話三三番

一内科

難波醫院

醫學博士 難波 睦
平町大町新川端
電話(五〇二番)

かまぼこ

折詰仕出し

御惣菜用さつま揚 吉原揚

平町二丁目

藤市蒲鉾店
電話三〇五番

和洋銅鐵金物問屋

久登屋商店

諸橋久太郎
電話九九番

印刷物は……加納活版所へ

近日賣出す發賣品は

一人前十五錢で満腹

平町三丁目

魚沼會堂

電話六三三番

夏期中臨時大特賣トシテ御願申シマシタ石炭モ御蔭様テ全部ヲ賣リ盡シマシタ、就キマシテハ從來ノ石炭ヲ御願ヒスル事ニナリマシタカラ不相變御引立ノ程偏ニ御願申シマス。

◎正味十貫目 金三拾錢

御注文ハ

電話三七七番へ

平停車場前

阿部石炭商店

三河産業博覽會
昭和产业博覽會

金牌受賞

かまぼこ

折詰仕出し

平町一丁目

お惣菜用
さつま揚

不藤寅

吉原揚
電話一四一番

心安積蓄 剝低通融

三車無盡

許免臣大藏大

社會盡無用信本湯

番七四話電

毒核 腸胃

皮膚病 淋病 婦人病 十二指 腸胃病 胃性 腸病

院醫科 腸胃病 胃性 村松

(七〇一話電) 町南町平

許免臣大藏大 共有銀米

盤城無盡

誠意堅實

世界の名湯國立療養所の所在地

別府の天然家庭温泉

命の洗濯

一、温まる事は天然温泉と變りませぬ
一、萬病に靈驗的効果のある天下の別府温泉を日常家庭で湯治の出来る重寶な家庭温泉
一、從來の浴劑を斷然優越せる新發見劑
一、石鹼の使用は出来る、白粉の伸を良くす、皮膚を美化する理想的浴劑

疲勞回復 健康増進の鍵
病魔征服 傳染病豫防の武器
眞の温泉療法は―若葉の三四月から―夏に於て最有効な時期です、是非御試用願ひます。

六回分 (二日使用 十二日分) 五十錢
十四回分 (同 廿八日分) 一圓
三十四回分 (同 二月八日分) 二圓

平町四丁目

命の洗濯代理店 小野屋藥舖

電話一四四番

吸入用酸素

純度 99%

度量衡

モノサシ 体温器
マス 寒暖計
ハカリ

秤ノ取緒・錘系・修覆致シマス

關内藥局

電話四〇番

病室完備

平町南町

X光線科

上田外科醫院

電話一二九番

入院應需